



令和 5 年 9 月 5 日(火) 例会 (第2882回) 報告 (雨) No.2710

出席率 …… 30/41 73.17% 第2880回補正出席率 …… 33/40 82.50%

欠席者 内田、角田、小板、庄司、高瀬、谷田、赫、中村、堀田、松本(正)、村山

メイクアップ(理事会) 9名

出席免除 足立、藤瀬、増谷、渡辺(昇)

◆会長時間 酒井博淳 副会長

まずは、浜田幹事！復帰おめでとうございます。

さて先週の夜間例会は、家内の誕生日だったため欠席させて頂きました。記念日は大切にしておりますスケジュール管理に気を付けていますが、だんだん物忘れが多くなって、スケジュールを失念してしまう失敗もあります。それは「年を取って知能が下がり、ど忘れが増える訳ではない」とのこと。多忙で常に考え事しているとメモリがいっぱいで、新しい情報が処理できなくなるからです。記憶から溢れ出そうなのは、必ずカレンダーに書くようにしています。忘れてはいけない記念日や、記憶の整理を怠らないようにしましょう。

◆幹事報告 浜田貴稔 幹事

◎石倉G事務所より「ロータリー研究会への支援願い」「月信第3号」「秋田豪雨災害状況報告」「基本的教育月間の案内」
◎友末直前G事務所より「月信第13号」 ◎企業紹介リーフレット完成、配布。 ◎渡スポよ「全国大会出場報告と御礼」
◎能楽協会より「観世流境港特別講演チラシ」が届く ◎9月Rレート1\$=146円 ◎本日、例会終了後「9月定例理事会」

浜田貴稔 幹事 挨拶

久しぶりに帰ってまいりました。今年度、赫会長の幹事を拝命しております浜田です。病欠の3ヶ月間は皆さんに助けて頂きご迷惑をお掛けしましたが、SNSで活動の様子等を見ながら復帰の日を楽しみにしていました。少しずつご恩返しをして行きたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いします。



9月結婚記念日祝い

11日 村山尚史 会員

◆委員会報告

◎職業奉仕委員会…浜田一哉 委員長

9/15(金)境二中で職業講話トーク①を開催。参加18社の皆様よろしくお願いします。体育館等で小さなグループに分かれて実施します。スライド等のご希望があれば浜田までご一報下さい。

◎中田耕治 会員

お手元に配布のチラシ「観世流境港特別公演」は、文化庁の能楽キャラバン事業です。新装のみなとテラスにて、観世流家元による公演。10/19(木)14時～、ご興味あればぜひご鑑賞ください。

◎野球同好会…渡邊冬樹 会員

今夜の米子南RCとの試合は、雨で球場の状態が悪く延期。

— スマイルBOX —

◎岩本様をお迎えして。卓話、楽しみにしています。酒井(博)、浜田(貴)、木村、上田、小藤、津田、中田、山崎 ◎酒井副会長、初会長時間ががんばって。中田、瀬戸 ◎久しぶりの参加です。引き続き宜しくお願いします。浜田(貴) ◎浜田幹事、お帰りなさい！ 上田、川田、喜多村、黒田、小林、酒井(英)、瀬戸、中田、平岡、北國、松井、三輪、山崎 ◎夜間例会、たくさんのご参加ありがとうございました。鷺澤 ◎スマイルに協力 岡空、松本(勝)

次は9/19(火)夜、米子中央RCとの対戦です。更に、ライオンズとの親善野球が9/28(木)夜の予定。ご参加よろしくお祈いします。

◆9月行事予定(基本的教育と識字率向上/ロータリーの友月間)

- 9/15(金) 職業講話 トーク①(14:20~15:05 境二中)
- 19(火) 休会(定款7条)
- 5 RC野球 VS 米子中央RC(19時 米子市民球場)
- 23(土) 5 RC親睦ゴルフ大会(9:03~ 大山平原GC)
- 28(木) 第4回ライオンズ親善野球(19時 竜ヶ山球場)

◆例会変更

- ☆米子東RC 9/13(水) 休会(定款) ビジター受付無
- 9/27(水) 観月夜間例会 ビジター受付あり
- ☆米子南RC 9/18(月) 休会(祝日) ビジター受付無
- 9/25(月) 夜間例会 ビジター受付あり
- ☆米子中央RC 9/21(木) 休会(定款) ビジター受付無
- ☆米子RC 9/29(金) 休会(定款) ビジター受付無

— プログラム — 「養殖魚のエサ作りとリサイクル」

(株)錦海化成 代表取締役社長 岩本秀熙 氏

私は、1979年米子市で生まれ、後藤ヶ丘中学校～米子東高等学校から、東京の大学に進学しました。家内と、中3と小6の二人の息子がいます。趣味は読書で、「吉田松陰の手紙」は繰り返し読んでいます。



会社は、元々祖父が米子で始めました。その後、事業を継いだ父が亡くなり、四男である私が後を継ぐ事になって、東京から戻って社長となってから17年目となります。事業は、魚のアラを原料として魚粉と魚油を作っています。20年ほど前までは、魚粉は主に養鶏のエサに使われていましたが、現在では養殖魚のエサに使われています。養殖魚のエサには、魚粉を50%程度配合するので、エサにもそれなりの品質が求められます。当初、わが社の製品は、原料の質や管理の問題で輸入物には勝てませんでした。しかし、その後のいろいろな工夫研究をし、良質なものが作れるようになりました。通常は廃棄されるアラのリサイクルも目指し、日本各地で発生する原料を元に、国内最良の製品づくりを目指しています。

また、さらに生産技術を高め、養殖業界の役に立ちたいとも思っています。直近の7～8年ぐらい前までは、社長の自分がやらなければと言う使命感から、原料買付、製品作り、営業販売、研究など全て自分でやっていたのですが、最近では考えを変え、誰がやっても失敗しない生産技術の研究に取り組み、数値化することによる見える化にも取り組みました。工場内の機械設備も一新しました。最近では、経験の浅い社員でも良質なものが出来るようになってきました。それに伴い、社員の定着率も良くなり、社員数も順調に増えてきています。わが社の事業のポイントは、品質と生産量の向上こそが経営の安定だと考えています。

今回(9月12日) プログラム

「新会員卓話」
佐藤 浩延 会員

次回(9月19日)

休会
(定款7条)

次々回(9月26日) プログラム

「新会員卓話」
小藤 善之 会員